

海外短信



—インドネシア—

ジャカルタの交通事情について

～ (株)江口巖商店 ～



激しい渋滞が発生するジャカルタの交通状況

首都ジャカルタに暮らす外国人の私達にとって、専属の運転手に運転をしてもらう自家用車がほぼ唯一の移動手段です。 ジャカルタでは主要な道路は整備されていますが、少しでも外れた道に入りますと舗装が陥没していたり、また雨季ともなれば瞬間的な豪雨で道路は川と化す事などは日常茶飯事。運転マナーも我々日本人では考えられない様な悪さで、交差点などでは早く頭を突っ込んだ者勝ちとなり、クラクションのオーケストラ状態です。

近年急増したオートバイや何の前触れもなく停車し乗客を乗せるマイクロ循環バスなどなど、元々のインフラ整備の悪さも重なって渋滞が発生する連鎖要因が多々あり、渋滞の光景が当たり前の様になっています。

この様な渋滞を緩和する対策として『3in1』(スリーインワン) という制度があり、都市部の一部地域で朝7時～10時、夕方4時半～7時迄の時間帯では車内に3人以上乗車していないと乗り入れが禁止されるというものです。ただこの制度によって本当に渋滞が緩和しているかとういと、対象道路を迂回した車で更に激しい渋滞が発生してしまっており解決策にはなっていないというのが私見です。

今後インドネシアでは2015年に車両販売量が100万台を突破(2009年は約48万台)するとの市場観測がありますが、正直これ以上車の数が増えたらどうになってしまうのか、経済的には素晴らしい事だと思いますが、まずはインフラ整備が先の様な気がします。



PT.KANSAI PAINT INDONESIA スタッフの皆さん